

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	niconico福津			
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月2日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	チームでの支援体制の確立 計画作成・支援・振り返りまで職員間で共有されており、共通理解のもとで支援が行われている。	PDCAサイクルの徹底 記録・振り返り・モニタリングを通じて、支援の検証と改善を継続的に行っている。	地域との関わりの拡充 児童の状況や安全面に配慮しながら、地域交流や外部との関わりの機会を検討する。
2	環境整備と活動の充実 スペースや設備、活動内容についても評価が高く、外出活動や季節行事など多様な経験機会が提供されている。	個別性を重視した支援 児童の特性や発達段階に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。	外部連携の強化 児童発達支援センター等との連携を強化し、専門的な助言を受ける体制を整える。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援の機会不足 研修や意見交換の場が不足しているとの意見があり、保護者支援の充実が課題となっている。	安全面への配慮 児童の特性や安全確保を優先することで、地域交流や外部との関わりに制限が生じている。	保護者ニーズの把握と反映 アンケートや面談を通じてニーズを把握し、研修や交流機会の創出につなげる。
2	地域交流の不足 地域の子どもの交流機会が十分ではなく、今後の取り組みが求められる。	ニーズ把握の不足 保護者のニーズを十分に把握しきれておらず、家族支援の展開が限定的になっている	段階的な地域連携の推進 安全面に配慮しながら、無理のない範囲で地域との関わりを増やしていく。
3	外部評価・専門連携の未整備 第三者評価や児童発達支援センターとの連携が十分ではない部分がある。	外部との関係構築の不足 日常的な支援は充実しているが、外部専門機関との連携機会が少ない。	外部連携・専門性の向上 児童発達支援センターや専門機関との連携を強化し、支援の質の向上につなげる。